

## ふるさと講座・歴史系第3回目

### 「オンネニクルの森を歩こう」のお知らせ

野付半島にあるオンネニクルの森へ足を運び、野付半島の自然、森に残された古代竪穴住居跡を探索しようと思います。

- 日 時 平成24年10月21日(日)  
午前10時～午後2時
- 場 所 野付半島  
(集合:野付半島ネイチャーセンター2階)
- ガイド 野付半島ネイチャーセンター専門員  
郷土資料館職員
- 定 員 20名
- 申込方法 電話にて氏名・電話番号を10月19日  
(金)までにご連絡ください。
- その他 気候が変化しやすい時期なので、防寒着、長靴を着用ください。  
昼食は現地で行いますので、お弁当、飲物を持参ください。



### オンネニクルの森の見どころは！

野付半島の先端を目指し、標津町との町境をすぎると右手にミズナラやダケカンバが立ち枯れた景観「ナラワラ」が広がります。ナラワラの南側には、深い森が広がり「オンネニクル」と呼ばれています。アイヌ語で「年老いた林、大きい林」という意味で、その東側には「ポンニクル」「若い林、小さい林」があります。年々海水の侵食により、立ち枯れの範囲が広がっているようですが、森の中は手付かずの状態なので、ミズナラなどの大木を見ることができます。

また、この森には古代から人々の生活の営みがありました。野付湾に面する入江の砂丘上には擦文時代(約1,200年前)の竪穴住居跡やアイヌ文化期のチャシ跡が確認されています。江戸時代には、加賀伝蔵が畑を開き作物を栽培したという記録も残っています。別海の森の中では、とても神秘的な場所です。

## 第10回加賀家文書館特別展 **今月で終了です！**

### 「義経伝説とヲ子コイチャシとチフルチャシの物語」

- 期 間 ～10月31日(水)まで
- 場 所 別海町郷土資料館附属施設 加賀家文書館



# 今年度の特別企画第3弾 ふるさと講座自然系

## 2012 地質の日記念行事 in・BETSUKAI

私たちの暮す別海町の大地は、どのようにして形成されたのでしょうか？ 本講座では、道内外の研究者に別海町や周辺地域の地質についてお話いただき、ジオツアーなどの巡見により、知られざる大地の姿を見ることができます。ぜひ、ご参加ください。

日時：平成24年11月3日（土）10：00～17：30

### ●午前の講演会（会場：別海町郷土資料館）

- 10：00-10：45 「根釧台地の生い立ち」在田一則氏（北海道大学総合博物館）  
10：50-11：20 「別海周辺の大地の恵みー温泉について」中川充氏（産業技術総合研究所）  
11：25-11：55 「風蓮湖周辺の海岸地形とそれから読み取れる地殻変動」  
七山太氏（産業技術総合研究所）  
11：55-12：45 昼食休憩

### ●午後のジオツアー（小雨の場合は実施予定）

- 案内者：重野聖之氏（茨城大学大学院理工学研究科/ 明治コンサルタント）石川智氏（九州大学大学院理学部）石井正之氏（北海道地質調査業協会）七山太氏（産業技術総合研究所）  
12：45 別海町郷土資料館発（自家用車で参加の方は終了後の現地解散も可能）  
13：00-14：30 「本別海～走古丹の西別海河口と分岐砂嘴の地形観察」  
15：00-16：30 「根室市ガッカラ浜での巨大津波痕跡の観察」  
17：00 JR厚床駅前着  
17：30 別海町郷土資料館着・解散

■参加申込 11月2日（金）までに電話で、お名前、電話番号、午前・午後の参加希望の有無をお知らせください

■募集人員 午前の講演会ー特に人数の制限はありません。  
午後のジオツアーー移動バスの乗車希望者は、先着15名とします。個人の自家用での参加も可能です。

■その他 昼食は各自ご用意願います。郷土資料館で食べていただいてもかまいません。  
服装は防寒着や長靴を用意ください。

別海町郷土資料館だより No.159

発行日 平成24年10月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802（FAX兼）

e-mail kyoudo@betsukai.jp

### 編集後記

やっと気温も下がりましたが、この温度差は結構きついものがあります。さて、今月はお知らせばかりですが、オンネニクルの探索や地質に関する行事が目白押しです。地質に関しては、著名な方々のお話が聞ける上に、現地での案内もあります。ぜひ、ご参加を！（K.I）